

はく離剤 三重塗料「STRIPPER」

塗膜内部へ浸透 高いはく離性能

国土交通省の土木鋼構造向け塗膜はく離剤技術の比較表に掲載された三重塗料の中性型水系はく離剤ECO「STRIPPER」(NETIS登録CB-210014-A)。最大の特徴は、高いはく離性能だ。

主要法令の規制対象外

塗膜の状態によっては、発揮する。同社の湊久幸0・50kg/m程度の塗布 副社長によると、「塗布量でも十分なはく離力を 直後の過度な軟化反応を



上右の写真は、STRIPPERの使用場面

抑えながら塗膜内部へ浸透し、多層塗膜の除去を可能としているという。一般的に、環境対応型はく離剤は塗布量の設定が難しいとされるが、同製品は0・70kg/mを標準塗布量に設定。塗膜厚や塗装仕様、部位ごとの条件に応じて0・50~1

kg/mの範囲で調整できる。また、塗布後の垂れが少なく、均一なはく離効果を得やすい点も特徴としている。安全面では、特定化学物質であるシクロロメタンを含まず、過酸化水素も使用していない。このため、毒物及び劇物取締法、PRT法、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則など

主要法令の規制対象外となっている。さらに引火点は150℃で、土木鋼構造用はく離剤ガイドライン(案)の基準値93℃を大きく上回る。環境性能も高い。PRT法対象物質を含まず臭気が少ないほか、平均生分解度95%(最大99%)を実現。魚毒性96時間LC50は540ppmで、ガイドライン基準値を大幅に上回る。

安全管理徹底

また、プラスト工法と比較して産業廃棄物の発生量を抑制できるため、処分費や輸送に伴うCO₂排出量削減にも寄与するとしている。同製品は中性型であることから、酸性はく離剤による鋼材腐食促進や、アルカリ性はく離剤による表面残留物の影響を抑制し、はく離後の塗装工程への影響を低減できるという。

一方で同社の担当者は、「安全な製品であったり、

でも、はく離剤にはアルコール成分が含まれている」と説明。過去には他社製品で火災事故やアルコール中毒症状が報告された事例もあるため、防護服や防毒マスクの適切な着用、吸収缶の定期交換、十分な換気など、安

全管理の徹底を施工業者に呼び掛けている。湊副社長は、「環境配慮と施工性、安全性を両立したはく離剤として、橋梁やプラント、コンクリート構造物の維持管理に貢献したい」としている。

横丁 (1面)

左は「橋のひみつ」の表紙(発表資料から)。本



祖業を閉じる時

★ 橋梁事業 125年が問いかけるもの ④

技術継承 橋梁産業の未来

カナデビアの橋梁事業撤退は、2つの問いを投げかける。技術は誰が継ぐのか、産業基盤をどう守るのか。

カナデビアの橋梁事業撤退は、2つの問いを投げかける。技術は誰が継ぐのか、産業基盤をどう守るのか。



カナデビアを含む数十社が製作・架設に関わった明石海峡大橋

リエンスの中核でもあり、道路開通物流確保、復旧能力が欠かせない。

市場任せで供給能力が細れば、将来の社会コストはむしろ高くなる。加えて、世界の長大橋ランキングを見れば、日本勢の存在感は相対的に低下している。かつて世界最長支間だった「明石海峡大橋」は現在2位。上位にはトルコ、中国勢が並ぶ。国内市場縮小とともに、世界市場での存在感低下も進んでいる。

必要なのは、中長期需要の見える化、操業準進化発注、技能者育成、特殊橋梁技術の維持、更新需要を見据えた産業政策だ。老舗の退場を惜しむだけでは足りない。そこから何を学び、次代の橋梁産業をどう設計するか。いま、答えが求められている。(了)

点検支援技術性能カタログ 追加された技術(橋梁関係)

- (8面から続く)
- ① LEDライトユニット
- ② CTIワイピング
- ③ 鋼橋・C0橋
- ④ 上部構造(主桁、横桁、縦桁、床版) / 下部構造(橋脚、橋台、基礎)
- ⑤ 支保部(支保本体、アンカーボルト) / 路上(高欄、防護欄)
- ⑥ 腐食 / 亀裂 / ゆるみ
- ⑦ 脱落 / 破断 / 防食機能の劣化 / ひびわれ / 剥離
- ⑧ 鉄筋露出 / 漏水・遊離
- ⑨ 石灰 / 抜け落ち / 床版ひびわれ / 支保部の機能障害 / 変色・劣化 / 漏水・滲水 / 変形・欠損
- ⑩ LEDライトユニット
- ⑪ AVATA2を用いた点検支援技術である。
- ⑫ 概略費用(調査費用、機械経費、その他費用)
- ⑬ 橋梁撮影例) 橋種: コンクリート橋 橋長: 12m 全幅員: 8・3m 部位: 部材・床版下面 支保部 活用範囲: 100m 撮影型式: 静止画・動画 作業工数: 0・25~0・5日
- ⑭ 調査費用(外業) 15万円(旅費交通費は含まない) ※3人体制 調査費用(内業) 25万円 ※撮影データの整理、映像による損傷確認、報告書作成
- ⑮ 水陸両用狭あい部点検ロボットを使用した点検
- ⑯ 人が入れない狭い空間や水があつて進入できない箇所を、水陸両用狭あい部点検ロボットを使用し、ロボットに装着したカメラで画像撮影し、その画像から損傷を取得する点検支援技術である。
- ⑰ 橋梁条件【特に無し】(費用) 200千円 / 日(経費含まない) (次号に続く)

橋梁用伸縮装置について お悩みの方のための徹底ガイド!

伸縮装置の総合情報メディアです

伸縮装置Navi

補修の施工手順がわからない

ゴムジョイントの種類を知りたい

複数メーカーの比較検討をしたい

https://jointnavi.net/

伸縮装置Navi 検索